

● 広報

おくに



2017

8

NO. 754





～夢舞台での再会誓う～

アメリカコロラド州のDBT柔道道場一行が、7月2日から5日まで本町を訪れ、3日に小国町柔道会と小国柔道スポーツ少年団との柔道交流が行われました。

稽古終了後、柔道スポ少の加藤朱華(しゅか)ちゃんが仲良くなったレイラ・アダムスちゃんに「将来オリンピックで会いましょう」とメッセージを送り、再会を誓い合いました。



地域総ぐるみで未来の人材を育成 ～白い森学習支援センター～

近年、全国的に人口減少、少子高齢化などの社会環境の変化とともに、人々の価値観やライフスタイルの多様化などを背景に地域としての教育力が低下するなど、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。このため、学校、地域、家庭が連携しながら、地域全体で子どもたちを育てていく体制を構築することが重要となっています。町では、放課後子ども教室や白い森学習支援センターなど、学校外で子どもたちにさまざまな体験や地域の人とのふれあいを通じた学習機会を提供しながら、地域全体で子どもたちの生きる力の育成に取り組んでいます。今月は、地域のかたがたの協力によって運営されている白い森学習支援センターについて紹介しながら、地域全体で子どもを育てることの重要性を考えます。

相互連携協力による 地域教育の推進

全国的に地域の教育力の低下がさげばれる中、教育基本法が平成18年に戦後初めて改正され、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力の重要性が示されました。また、平成28年には、地域と学校の連携協働のもと幅広い地域住民等が参画し、地域全体で学び合い未来を担う子どもたちの成長を支え合う地域をつくる地域学校協働活動の推進などを盛り込んだ、「次世代の学校・地域」創生プランが策定されました。国では、こうしたことを基に、放課後の子どもたちに安心安全な居場所と体験・交流活動等の機会を提供する「放課後子ども教室」や地域の人材・企業・団体・大学等と連携した土曜日の教育活動、地域住民等による学習支援「地域未来塾」などの推進を図ってきました。

これまでの 本町での取り組み

本町では、こうした国の動向に合わせ、地域との関わりを通じた体験型学習として、平成19年度から小国小学校を活動拠点に地域住民のボランティアスタッフによる「おぐに放課後子ども教室めっちゃ」や北部地区では平成20年度から休日等を活用して、地域のかたが「まご支援隊」として、子どもたちと一緒にさまざまな体験活動を行う「まご楽校」を開催しています。このように子どもたちが地域の人と関わりながら楽しく学べる場を提供しながら、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めてきました。

また、これまで展開してきた体験を通じた学びと交流の機会の提供に加えて、平成26年度に「白い森学習支援センター」（以下「支援センター」

という。）を設置しました。これは、本町児童生徒の学力の向上を図るため、学校の長期休業や土日などの休みを利用して、希望する児童生徒に多様な学習機会を提供しているもので、講師を務める多くのかたが地域住民のボランティアスタッフとして関わっています。

支援センターの取り組み

支援センターが行っている各種講座内容は4ページの表1に整理したとおりです。小中高一貫教育の柱のひとつで



園児・小学校低学年対象の
英会話講座の様子

ある「国際・情報」に対応し、小さい時期から楽しく英会話に親しむことができる「英会話講座」や、子どもの体力低下が全国的な課題となる中、運動習慣を身につけながら体力向上を図ることを目的とした「運動遊び」などの講座を開設しています。

両講座は、家庭教育支援を目的に今年度から新たに保育園の年中児（5歳）まで対象を拡大しており、親子が気軽にふれあえる場所として、多くの親子が参加しています。

英会話講座と親子運動遊びに参加しているすみれ保育園年中の貝沼綾奈ちゃんは、「保育園でも英語で遊ぶことはあるけど、土曜日は保育園が違う友達と一緒にになるので、顔見知りにもなれるし、英語で遊べてとても楽しいです。」と話してくれました。

また、母親の貝沼嘉代子さんは、「子どもと一緒に参加して、楽しそうに英語を学んだり、汗をかきながら一生懸命に運動をする姿を見ています。気軽に参加して、子どもと親が触れあいを深めて、さまざまな体験ができる機会があるということはとても助かっています。」と話してくだ



貝沼綾奈ちゃん（左）
貝沼嘉代子さん（右）

新学習指導要領に プログラミング教育

国では、今年の3月に新たな学習指導要領（以下「新要領」という。）を小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度からそれぞれ実施することを公表しました。新要領は、今後10年先を見据えた学習指導方針であり、現在注目を集める人工知能（AI）



第1回プログラミング講座の様子

などの最新技術や情報化、グローバル化といった社会変化に対応した内容になっています。

また、新要領では、新たに小学校での英語の教科化に加えて、プログラミング教育（コンピュータに動きを指示するために使われるプログラムを学ぶ教育で、技術だけでなく、自分が求めることを実現するために必要な動作や記号を考え、組み合わせながら改善していく、論理的思考を育む教育）が必修化されました。

町ではこれまで、各小中学校に電子黒板やタブレット端末などを順次配置し、ICT教育（情報通信技術（ICT）

の利用・活用方法を教育の一環として取り入れた教育）の推進を図っています。その一環として、支援センターでは、今年度から新たに「プログラミング講座」を開設しています。講座では、町ICT教育アドバイザーである情報通信総合研究所（東京都）特別研究員の平井聡一郎氏を講師に招き、「プログラミングでアート」を目標に、球体ロボットをプログラミングで思い通りに光らせたり動かしたりすることでプログラミングを学んでいます。

プログラミング講座に参加している小国小学校6年の石田健悟くんは、「ホームページサイト上のプログラミングをやったことがあり簡単だと思っていました。実際にやってみると色々な視点から物事を考えていく必要があり難しかったです。」と話してくれました。また、妹の小学4年の石田悠華ちゃんは、「自分でプログラムを組み、ハー

講座名	対象	概要	開催時期	指導者
英会話講座	保育園年中 ～小学3年	楽しく英会話に親しめる機会を提供しています。また、幼児は保護者と一緒に英会話を楽しむことができます。	土曜日 (計10回)	町ALT 英語ふれあい指導員
運動遊び講座		幼少期からの運動習慣を作るため、基本的な動作を取り入れた運動で楽しく遊んでいます。		特定非営利活動法人おぐにスポーツクラブYui
学習講座 (白い森未来塾)	中学1～3年	土曜日や部活動のないテスト期間中、長期休業（小学生は長期休業）を活用して、学力向上のための学びの場の提供や個人に応じた学習支援を行っています。	土曜日 テスト期間 長期休業	地域住民 元教職員 など
学習会	小学1～6年			
プログラミング講座	小学4～6年	光る球体ロボットを自らプログラミングして動かし、楽しくプログラミングを学ぶことができます。	7月～11月 (計4回)	町ICT教育アドバイザー
サイエンス講座	小学4年 ～中学3年	クアーズテック(株)と日本重化学工業(株)へ出向き、企業の技術を使った実験体験や企業理解を深めています。	夏休み (7/28)	クアーズテック(株) 日本重化学工業(株)
地域体験学習講座	小学1～6年	子どもたちが閉校校舎に出向き、昔遊びや野菜収穫など、地域のかたとの交流を通して、さまざまな体験学習を行います。	夏休み (8/7)	地域住民等のボランティアスタッフ（学校運営協議会委員等含む）
白い森希望大学実現講座 (白い森志学塾)	小国高校生	大学進学を希望する生徒に対し、学校では対応が難しい領域について、それを補う事業を展開。1・2年生にはキャリア意識向上のための講話や教科基礎学力向上のための集中講習を実施。	土・日曜日 長期休業	町内企業 地域住民 元教職員 など

表1 白い森学習支援センターが開設している各種講座



石田健吾くん(右)・石田悠華ちゃん(左)・石田貴久恵さん(中央)

トの形を作ろうとしましたがうまくいきませんでした。もっと勉強をして、ハート形を作れるように頑張りたいです。」と話してくれました。

母親の石田貴久恵さんは、「昨年4月に引越してきて、学校からのプリントで支援センターの各種講座を知り、普段体験することができないことばかりでしたので、子どもたちに参加させています。私も一緒に参加したこともあり、また行きたいと思えるような内容でした。」と話してくださいました。

支援センターではこの他に、放課後や土曜日、テスト期間、長期休業を利用し、学

力向上のための学びの場の提供と個人に応じた学習支援を目的とした「学習講座・学習会」や夏休み期間を利用して子どもたちが地域に出て各種体験を地域のかたに学ぶ「地域体験学習講座」、クアーズテック(株)と日本重化学工業(株)で企業の持つ技術を活用して、日ごろ体験することのできない実験や企業理解を深めることを目的とした「サイエンス講座」などを開設しています。

小国高校生への支援

支援センターでは、幼児・小中学生だけでなく、小中高一貫教育の最高教育機関である小国高校生対象の講座を小国高校と調整しながら、高校が求める内容に合わせたプログラムを提供しています。

大学進学を希望する3年生に、講師による講話や受験意識向上のための進学塾体験、集中講習などを行っています。

す。また、1・2年生にはキャリア意識向上のため、企業や地域のかたからの講話や学力向上のための講習などを開催しています。

地域で子どもを育てる

支援センター所長である遠藤啓司教育長は、「教育の舞

台は学校教育を基本とする中で、支援センターでは、地域が持つ教育力や地域人材をうまく融合させ、学校教育では触れられない多彩な学習視点・内容を取り込みながら将来に生きるたくましい力や豊かな学びを育んでいます。また、小国の教育の将来像として保小中高一貫教育を掲げながら、幼少期の基礎段階からの制度・事業を確立し、展開を図っています。さらに、今年度新たに統括コーディネーターを配置し、学校や地域との調整や本町の子どもの実態に即した学習内容をメニューとして企画しながら、支援セ

ンター全体の制度づくりを進めています。学校や地域、家庭を取り巻く環境が変化する中で、これからは学校だけでなく、地域や企業など地域社会が丸となって連携協働しながら、子どもを育てていく必要があります。」と話しています。

東北の高校で初めて小国高校にコミュニティ・スクール制度が導入されたことにより、今年度からは町内の全ての小中高公立学校がコミュニティ・スクールとして地域と共にある学校運営を進めることとなりました。

町では、さらなる技術革新の進む将来を見据え、次代を生き抜く子どもたちを育成するため、小中高一貫教育を基本として、町内保育園と連携しながら新たな保小連携の取り組みを進めるとともに、学校、地域、企業などとさらなる連携を図り、地域社会全体で未来の人材を育成する体制の整備を進めていきます。

自然災害と防災行政通信システム



通信システム稼働基準

通信システムの定期放送及び緊急放送の基準は下の表1にまとめたとおりです。緊急放送は深夜、早朝を問わずに24時間いつでも放送するものです。特に大規模テロ、ゲリラ・特殊部隊攻撃、弾道ミサイル攻撃など国民保護情報に関する内容は、国の判断によりこの通信システムを通じて放送されます。一方、災害関係や気象情報などに係る緊急放送は、町でその状況変化等をみながら放送しています。

気象庁発表の

警報は3回

通信システムを活用して災

町内全域へ防災・災害情報を瞬時に伝達するため、各世帯に防災ラジヲを配備するとともに町内13箇所に屋外拡声子局（スピーカー）を整備し、本年4月に運用を開始した防災行政通信システム（以下「通信システム」という）。7月末までの4カ月における運用状況をお知らせします。

害情報等を発信する目安となるのは気象庁による警報等の発令で、これまでの4カ月間に本町では3回。1回目は7月3日、2回目は7月18日、3回目は7月24日のそれぞれ大雨警報です。

気象庁では全国で発生している自然災害に備え、その情報を詳細に伝えていくため、雨による災害発生危険度の高まりを評価する技術を活用して、大雨・洪水警報及び大雨特別警報を改善し、本年7月7日から運用を始めました。また、これらを補足する情報として、全国を5キロメートル四方の範囲ごとに土砂災害発生危険度を5段階に判定した結果を表示（土砂災

害警戒判定システム：以下「判定システム」という。）としています。表2（7ページ）がその分類ですが、色分けができない（広報がカラー印刷でないため）ので危険度が高い順に数値で現しています。この危険度ごとに「内閣府のガイドラインで土砂災害警戒区域等を対象に発令が必要とされている避難情報」が示されています。町ではこの区分に

避難準備を促す

応じて避難情報等を通信システムで放送しています。

7月3日は前日から雨が断続的に降り続き、県内28箇所は山形気象台観測所の記録では小国観測所が2日間の累計降水量160.5ミリで最大となり、テレビ、ラジオ等でその状況が頻繁に報道されました。3日の午後7時6分に

	事 項	放送概要	摘 要
定期放送	時報	7時（チャイム・行政情報） 12時（チャイム） 19時（チャイム・行政情報）	システムの点検を兼ね、毎日放送します
	訓練放送	消防演習時のサイレン吹鳴 総合防災訓練時のサイレン吹鳴	
	火災予防	春季・秋季における全国火災予防運動に関する放送	
緊急放送	災害関係	災害対策本部等設置に伴う注意喚起・避難勧告等	必要な箇所に放送します
	消防関係	大規模災害、建物の延焼拡大が予想される場合	
	気象情報	緊急地震速報（震度4以上） 土砂災害警戒情報 特別警報 その他特殊な気象情報	
	公害情報	PM2.5、光化学オキシダント等	基準値を超えた場合放送します
	有害鳥獣	人家、通学路付近のクマ出没	出没地域で放送します
	国民保護情報	大規模テロ ゲリラ・特殊部隊攻撃 弾道ミサイル攻撃	

表1 定期放送及び緊急放送の基準

危険度	説明	内閣府のガイドラインで土砂災害警戒区域等を対象に発令が必要とされている避難情報
5	《実況で土砂災害警戒情報の基準に到達》過去の土砂災害発生時に匹敵する 極めて危険 な状況。既に土砂災害が発生しているおそれもあり。この状況になる前に避難を完了する。まだ避難していない場合は直ちに身の安全を確保する。	避難指示（緊急）
4	《予想で土砂災害警戒情報の基準に到達》土砂災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険 な状況。速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。	避難勧告
3	《実況または予想で大雨警報の基準に到達》土砂災害への 警戒 が必要。避難準備をし、早めの避難を心がける。	避難準備・高齢者等避難開始
2	《実況または予想で大雨注意報の基準に到達》土砂災害への 注意 が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	
1	《実況及び予想で大雨注意報の基準未達》今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

表2 土砂災害警戒判定システムのメッシュ危険度と避難行動

は土砂災害警戒情報が発令され、判定システムでは午後7時20分に沖庭・北部地区周辺に危険度3の表示がされました。（下の図1）このため、当該地域を管轄する消防団第5分団、第6分団に管内パトロールの出動を要請し、その状況把握に努めました。この段階では被害等は確認できま

地区を対象に通信システムを活用して避難の準備を呼びかけました。しかし、午後11時12分には土砂災害警戒情報が解除され実際の避難には至りませんでした。

気象情報への注意喚起

7月18日には、寒気が流れ込み梅雨前線が活発化したことにより早朝から午前中にかけて大雨警報、土砂災害警戒情報が小国町内に発令されま

7月に発生した3度の大雨は、本町において大きな被害は発生しなかったものの、九州北部の豪雨災害のように、これらは予期できるものでは

緊急放送は
エリアごとに峻別

した。この日の降水状況は3日と同じく県内でも本町が最も激しかったため、報道で度々取り上げられました。

また、判定システムでは旧沖庭小以南樽口以北のエリアに危険度4が示されたものの、リーダーによる降水状況の予測では短時間に収束することが見込まれたため、北部・白沼地区を除く地域を対象に通信システムを活用し、気象情報に注意することと、増水している河川、用水路に近づかないよう呼びかけました。

ありません。このため、気象庁などが多様な方法で状況を発信していますので、町としてはこれら収集に努めながら、適時判断し、町内を対象となる地域を絞り込みながら、通信システムを活用して情報を発信してまいります。

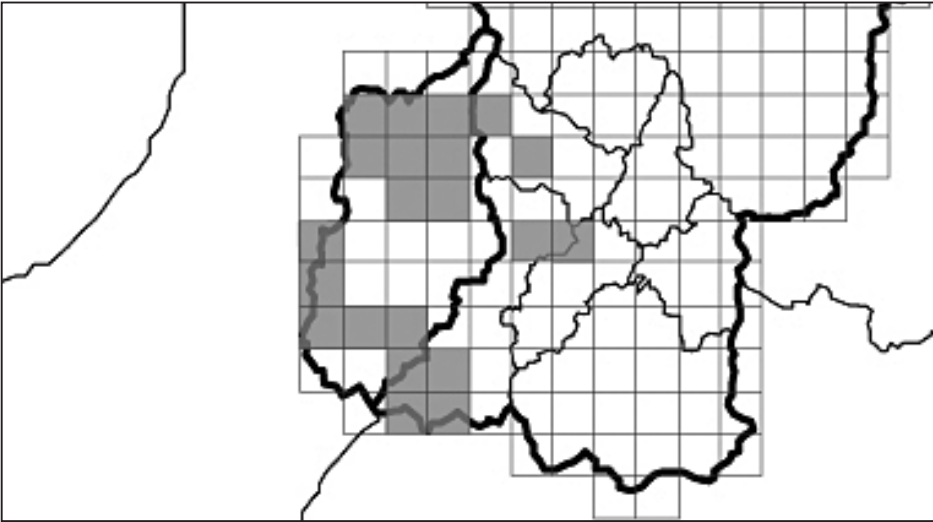


図1 置賜地域の判定システム危険度3の箇所（7/3 20：30時点）



全国の狩猟者が小国に集結 ～第28回マタギサミット～

第28回「ブナ林と狩人の会：マタギサミットinおぐに」が、6月24、25日の2日間、旧北部小中学校などで開催され、全国の狩猟者など約150人が参加しました。

24日は、シカやイノシシの効率的な捕獲技術などについての講演が行われ、25日には主宰者の東北芸術工科大学田口洋美教授が中心となり意見交換会や五味沢地区の猟場見学などが行われました。



さまざまな絵本にふれて ～図書室絵本まつり～



絵本まつりが、7月8日おぐに開発総合センターで開催され、親子連れ約30人が参加しました。絵本の読み聞かせやうちわ作りが行われたほか、絵本「おばけのてんぷら」に出てくる野菜のてんぷらの試食会などが行われました。

参加者は、読み聞かせで絵本にふれあった後、個性豊かなオリジナルうちわを互いに見せ合いながら穏やかなひと時を過ごしていました。

全国の舞台で最高のパフォーマンスを ～本町出身の高校生3人がインターハイ出場～

7月28日から8月20日まで山形・宮城・福島県の南東北3県で開催されている、平成29年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）「はばたけ世界へ 南東北総体2017」に、本町出身で米沢中央高等学校3年の永井桂大（けいた）さん（町原）が陸上競技3種目（男子400mハードル・男子リレー4×100m、4×400m）に、同校1年高橋飛雄馬さん（西）が陸上競技男子リレー4×100mに、山形城北高等学校2年の峰田駿平さん（兵庫館）が男子バレーボールにそれぞれ出場しています。

地元開催のインターハイでの3選手の活躍が大いに期待されます。



米沢中央高校3年
永井 桂大 さん



山形城北高校2年
峰田 駿平 さん



米沢中央高校1年
高橋 飛雄馬 さん



南東北インターハイ
シンボルマーク

人生に遠回りなし！物事はプラス思考で！ ～小国中学校創立70周年記念講演会～



小国中学校創立70周年記念講演会が6月26日、小国中学校体育館で行われ同校の卒業生で落語家の山遊亭金太郎師匠が「チャンスをゲット～人生山あり谷あり～」と題して話されました。

金太郎師匠は、故桂小南師匠に弟子入りを申し出たものの2年間お金を貯めて、訛りをなくすため自衛隊へ入隊するようと言われ、その経験から得たことや再度師匠に入門を申し出たエピソードなどを語り、「人生に遠回りや無駄なことは絶対はない。チャンスは常に流れており、それをいかにつかむか。また、失敗した時に原因を追究するのではなく、どうしたらうまくいくのかというプラス思考で物事を考える姿勢が大事である。」と、生徒たちに挑戦することの大切さを訴えていました。



地域おこし協力隊

みやざき みほ
宮崎 美穂



▲温身の池付近でモリアオガエルの卵を見つけた参加者

「外の人みんな言うんです、小国いい！って」

8月に入り夏休みに心弾ませる子ども達とセミと、どちらが賑やかでしょうか。4月5月には食べ物付情報誌「東北食べる通信」で素敵な小国町を特集して頂き、全国1,400人のかたに知られることとなりました。何度も取材に訪れていたスタッフが小国町を大変気に入、「ツアーを組みませんか？」と相談を持ち掛けられ、あれよあれよという間に7月1日、2日、総勢約20人での小国ツアーを開催いたしました。樽口のきのこ農家、小玉川の民宿、温身平セラピートレッキング、移住者トークなどを楽しみ、町内向けに販売開始したキクラゲ栽培の菌床をお持ち帰り頂きました。キクラゲの成長を皆さんからも発信してもらうことで一度きりの観光旅行で終わらせない、長く続く小国のファンになってもらえたらと思います。暑さにバテそうになりますが、気を引締めてこれからも頑張ります！

羽越水害から50年

災害の爪痕をたどって その④

平成29年8月28日、羽越水害から50年となる。

先月、九州北部に降った雨は日雨量500ミリを超える羽越水害クラスの大雨をもたらした。あの羽越水害の時、住民はどんな思いで過ごしたのだろうか。その経験を語ってもらった。

眠れない夜

「震えて震えて眠れない夜だった。」と話すのは、やまと屋（小国町）の伊藤恵美さん。当時、家の建て替え中で平屋を借りて住んでいたと言う。「雨が激しさを増す中、夜8時過ぎに小学生の子ども2人を含む家族5人で避難しようとして外に出ると、すでに腰上まで道路が浸水していた。子どもを背負って建設途中の家の2階に避難したが、雨がひどく、隣の電電公社に当直のかたが3人ほどいたので、2階の窓越しに避難させてもらった。電電公社に避難してしばらくすると、小国デパート（現栄町市場）前交差点で水が渦を巻いて車を飲み込んでいた。その後9時頃だったと思うが、『ドーンッ』と聞いたこともない大きな音がして、小国橋（現小国大橋）が落ちたと分かった。その音とともに道路の水はみるみる引いて行った。」と話す。「残しておきたい大切なものもあったけど、何もかも失ってしまった。次の日から借家においていたものを洗う作業を始めたが、周りの水は泥水ばかりで、水害後一番苦労したのは水だった。」と話す。水によって被害を受け、被災後必要なものは水であった。



▲ 8月29日早朝 小国大橋右岸

夢みしたいな出来事

「今思えば夢みしたいな出来事だった。」そう話すのは、西澤床屋（小国町）の西澤富美子さん。午前中、清水町の歯医者に向かう途中、立ち話に「空が真っ暗なのに雨も降らないで恐ろしい」と話したという。

「歯医者から外に出ると小雨が降っていた。その後徐々に強さを増した。雨は降り続き、夕方、会社帰りの夫と弟から、会社方面の沢が氾濫したと聞いた。その頃、家の前の道路に水が流れ出していた。自宅は道路より高い場所があり、その時はほうきで水を払っていた。日が暮れて、外に出て小国橋を見ると水が橋の欄干を超えていた。この時、道路は膝下くらいまで冠水。すぐに避難しなければと思った。小国デパート屋上に避難を考えたが、居合わせた人に『地面をたたきつける強い雨で体も濡れるだろう』と、長崎屋2階に避難できるよう交渉するからと避難を促された。そして夜7時頃、4歳の子どもを背負って家族5人と周りの家族で避難した。避難して少しすると、長崎屋の1階店舗にも浸水し、避難した人で商品を2階に上げるのを手伝ったことを覚えている。夜が明け、小国橋方面を望むと川の霞で橋の向こうには丸一さんの家の屋根だけしか見えず、他は全て流されたのかと思った。私の師匠の家が大橋のたもとにあり、その家は流されてしまっていた。師匠はどうなったかと心配したが、その後無事を知って安心した。自宅は1階部分が浸水し、散髪用の電動イスが壊れ、ソファーなどは流された。少し前に買ったテレビも水に浸かってダメになった。私たち家族と一緒にそろって避難したけれど、周りにはばらばらに避難した家族もいて、その後の安否確認などが大変だった。」と話す。



▲屋根に避難する国鉄公舎の住民



▲小国警察署道場に避難した住民

羽越水害50年写真展

羽越水害から50年の節目を迎える今年、役場広報担当で保管している当時の写真をアスモと役場に展示します。ぜひ、ご覧ください。

■ 8月7日(月)～8月21日(月)

ショッピングセンターアスモ内

■ 8月21日(月)～9月1日(金)

小国町役場 2階 正面ロビー

■ 感想などぜひお寄せください。



▲駅前栄町通りの様子

小国町農業委員会の 新しい委員・推進委員が決まりました



大谷 健人
(委員／西)



川崎 吉巳
(委員／大石沢)



小嶋 剛
(委員／町原)



伊藤 実千昌
(委員／田沢頭)



山口 満
(推進委員／大石沢)



安部 茂
(委員／小股)



横山 信一
(委員／泉岡)



舟山 秋子
(委員／町原)



塚原 浩
(推進委員／舟渡)



井上 昌樹
(推進委員／岩井沢)



金 繁
(推進委員／小渡)



佐藤 和美
(推進委員／樽口)

会長に
横山 信一 氏
職務代理者に
川崎 吉巳 氏

平成28年4月1日に新たな農業委員会制度が施行され、本町では去る7月20日にこれまでの農業委員の任期満了に伴い新制度に移行しました。農業委員は、小国町議会6月定例会において同意を得た7人で、7月20日に仁科町長から辞令が交付されました。新制度では、担い手への農地集積や遊休農地対策、新規参入の促進など、担当区域において活動を行う「農地利用最適化推進委員」が新設されました。本町では、人・農地プランの各地区から5人の農地利用最適化推進委員が農業委員会より委嘱されました。7月20日には、新しい制度となつて初めての農業委員会総会が開催され、会長と職務代理者が選出されました。委員の任期は平成32年7月19日までです。

平成29年度小国町新社会人就職お祝会

平成29年度小国町新社会人就職お祝会が、7月19日、レストランあいあいで開催され今春町内企業等に就職をした新卒者23人が参加しました。

これは、町内企業、事業所への新卒者の就職促進を図るとともに、町内で働く同世代の仲間や企業のかたとの交流を通して、多様な人間関係づくりにつなげてもらおうと今年度から新たに町が主催したものです。

新社会人が自己紹介、自己PR、小国の良いところ・変えてほしいところなどをそれぞれ発表し、個性あふれる発表に会場は笑いや拍手に包まれていました。

昼食をとりながら仁科町長、山口副町長と意見交換を行ったほか、企業の枠を越えた交流を通して親睦を深めていました。



平成29年度新社会人の集合写真



真剣な眼差しの新社会人の皆さん



▲小国町柔道会、小国柔道スポーツ少年団、DBT柔道道場の交流会



▲小国中学生との英会話交流

山形県と姉妹県州であるアメリカコロラド州のスポーツ交流団20人が7月2日から5日まで本町を訪れ、さまざまな体験を通して町民とふれあいました。

3日に行われた歓迎セレモニーでは、交流団からアスペン(ポプラの木)の葉をあしらった友好の盾が町に贈られ、町からは、交流団員に「白い森」のロゴマークを刻んだ木製メダルを贈呈しました。

期間中、クアーズテック(株)訪問や古田歌舞伎見学、小国

小学校・中学校・県立小国高校での交流などのほか、3日夜には小国町柔道会、小国柔道スポーツ少年団と合同の柔道交流会が行われました。柔道交流では互いの技術を教え合いながら、大粒の汗を流し、真剣な眼差しで稽古が行われました。

団長を務めるトム・サカタ氏(48歳)は、「今回をきっかけに小国町とコロラド州が継続して相互交流できるような関係を築いていきたい」と話してくださいました。

米国コロラド州DBT柔道道場一行が来町

地域おこし協力隊 根本 俊輔 さん着任



7月1日から本町の地域おこし協力隊に、東京都出身の根本俊輔（しゅんすけ）さんが着任しました。

根本さんは、今年5月まで都内の映像制作会社に勤務し、バラエティー番組やスポーツ映像などの撮影を担当していました。新股地区に居住しながら、地域行事や共同活動への支援、イベントや祭事等の記録、地域情報の発信などを行います。

根本さんは、「地域のかたからさまざまなことを学びながら、自身の成長につなげ、これまで培った技術を活かして小国に貢献したい。」と意気込みを話してくれました。

■名前 根本 俊輔
■年齢 24歳
■活動地域 東部地区

小国町消防操法大会が6月25日、西置賜行政組合消防署小国分署で開催されました。出場選手たちは、この日まで、仕事の終わった夜間などに消防小国分署員の指導を受け練習を重ねてきました。大会では、ポンプ車の部・小型ポンプの部・小型自動車部の3種目が実施され、出場した選手たちは、指揮者の指示に合わせ、全員が息の合った迅速かつ的確な動作を見せ、練習の成果を発揮していました。



小国町消防操法大会

小国町就職面接会のお知らせ

- 日時 8月8日(火)13:30~15:30
- 場所 ショッピングセンターアスモ3階 多目的ホール
- 参加企業 町内企業15社
- 対象者 小国町内に就職を希望する求職者（事前申込不要）
- 問合先 ハローワーク長井（☎84-8609）または産業振興課（☎62-2416）へ

町営町原墓地使用募集

- 募集区画 A区画（1.5坪） 3区画
- 募集期間 8月31日(木)まで
- 永代使用料 90,000円
- その他 申込みが複数となった場合は抽選となります。
- 申込・問合先 町民税務課町民生活担当（☎62-2260）へ

歯周疾患検診を受けましょう

山形県後期高齢者医療広域連合では、歯を失う大きな原因となっている歯周疾患の予防を目的に、歯周疾患検診事業を実施しています。対象のかたは、ぜひ受診してください。

- 対象者 昭和16年4月1日から昭和17年3月31日に生まれたかたで後期高齢者医療被保険者証をお持ちのかた
- 場所 県歯科医師会に所属している歯科医院
- 期間 8月1日(火)~12月31日(日)
- 受診料 無料
- 受診方法 事前に受診する歯科医院に予約し、その際「山形県後期高齢者広域連合の歯周疾患検診」であることをお伝えください。
- 受診時の持ち物 受診券、受診票、保険証
- その他 対象者には受診券、受診票等を送付しています。
- 問合先 山形県後期高齢者医療広域連合（☎0237-84-7100）へ

羽越水害50年記念シンポジウム ～羽越水害の経験に学び、これからの防災を共に考える～

- 日 時 8月26日(土)13:20～16:30 (12:30開場)
- 場 所 村上市民ふれあいセンター 大ホール (村上市岩船3270)
- 内 容 オープニング 関川・岩船・神納・山北中学校合同による吹奏楽演奏
絵画コンクール・フォトコンテスト表彰式
講演 「特別警報と気象災害への備え」 天達武史 (気象予報士)
パネルディスカッション 「羽越水害の経験に学び、これからの防災を共に考える」
未来を担う世代の宣言 など
- その他 会場では、荒川流域の物産展のほか、防災アトラクションが盛りだくさん。楽しみながら防災を学ぶ1日にしましょう。(開催時間10:00～17:00)
- 問合先 羽越河川国道事務所調査課 (☎0254-62-6038)
または役場地域整備課建設管理室 (☎62-2431) へ

夜間・休日納税相談のご案内

仕事などの都合により、平日の日中に税金や保険料の納付に係る相談を行うことが困難なため、下記のとおり休日・夜間納税相談窓口を設置します。ぜひご利用ください。

■受付内容 町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付と納付に係る相談

■休日納税相談

○日時 8月20日(日)9:00～16:30

■夜間納税相談

○期日 8月15日(火)～17日(木) 3日間

○時間 17:30～20:00

■場 所 役場町民税務課

■その他 休日・夜間納税相談にお越しの際は、役場正面玄関からお入りください。

■問合先 町民税務課収納担当
(☎62-2403) へ

奨学金の貸与を受けている若者の 本町回帰を支援します (市町村連携枠)

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、県と連携して奨学金の貸与を受けている学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施しています。

■対象 ①町内に居住し県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を卒業したかたで、②国内に所在する大学等に在学中で、③日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けているかた、または受ける予定のかた

■助成内容 大学等を卒業し、6カ月以内に町内に居住して県内に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、奨学金返還残金に対し助成します。(※上限額があるほか、この他にも条件がありますので応募の際ご確認ください)

■応募期間 平成29年8月31日(木)まで

■問合・応募先 総務企画課政策企画担当
(☎62-2264) へ

入札結果情報 (平成29年6月21日～平成29年7月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期 (完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.6.23	平成29年度高周波手術装置購入	あけぼの	H29.7.31	3,200,000	岡崎医療(株)	2,873,500
H29.6.26	平成29年度小国町水道事業小渡地内配水管布設工事	小渡	H29.10.6	59,320,000	(株)高橋工務店	57,000,000
H29.6.30	平成29年度小国町公共下水道事業小国浄化センター汚泥処理計装設備更新工事	増岡	H30.3.16	29,662,000	(株)東芝東北支社	29,500,000
H29.7.5	平成29年度町道舟渡上平線路線測量業務委託	舟渡	H29.7.31	1,180,000	㈱小国測量設計事務所	1,100,000
H29.7.5	平成29年度白沼簡易水道沼沢地内配水管布設工事	沼沢	H29.8.31	4,420,000	遠藤建設(株)	4,150,000
H29.7.13	平成29年度移動通信用鉄塔施設整備事業百子沢地区地形及び用地測量業務委託	百子沢	H29.8.25	2,720,000	㈱小国測量設計事務所	2,700,000
H29.7.18	平成29年度町道出戸石滝線改良舗装工事	石滝	H29.8.31	3,436,000	大和建設運輸(株)	3,400,000
H29.7.18	平成29年度町道代場山線舗装新設工事	小国町	H29.8.31	8,746,000	小国開発(株)	8,700,000
H29.7.18	平成29年度町道長者原内川線改良舗装工事	小玉川	H29.10.21	14,340,000	玉川開発(株)	14,000,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅小坂町団地》

3DK 1戸（3階）

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

《町営住宅あけぼの団地》

2DK 1戸（1階）

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

《あけぼの高齢者団地》

1LDK 1戸（1階）

■家賃

所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下

で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した

生活をおくることができ同

居の場合は同居するかたが

配偶者または60歳以上の親

族であること

《小坂町勤労者住宅》

2K 1戸（3階）

■家賃 33000円（2K）

■対象

町内事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分
■募集期限 8月10日（木）
■入居時期 8月下旬以降
■問合せ 地域整備課建設管理室
（☎62・2431）へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 8戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間

8月4日（金）～10日（木）

■入居時期 10月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁

舎（長井市）総合案内窓口

■問合せ 県営住宅指定管理

者（株）西王不動産置賜事務所（☎

0238・24・2332）へ

西置賜行政組合

消防職員採用試験

■採用人数 消防士 若干名

■受験資格 平成5年4月2

日以降に生まれたかた

※身体及び居住要件有り

■試験日及び試験会場

9月24日（日）
西置賜行政組合消防本部
■受付期間
8月21日（月）～9月11日（月）

■申込・問合せ

西置賜行政組合事務局（☎

88・4336）へ

※詳しくは西置賜行政組合ホームページをご覧ください。

置賜広域行政事務組合

職員採用試験

■採用人数 消防士 若干名

■受験資格 昭和63年4月2

日から平成12年4月1日ま

でに生まれたかたで、採用

後、米沢市、南陽市、高畠

町、川西町に居住可能なか

た など

■試験日及び試験会場

9月24日（日） 置賜広域行政事

務組合千代田クリンセンター

※体力試験は、9月25日（月）米

沢市営体育館で行います。

■受付期間

8月14日（月）～9月8日（金）

■申込・問合せ

置賜広域行政事務組合（☎

0238・23・3246）へ

ご案内

ステンドグラス展示会

■日時

8月19日（土）9時30分～17時

8月20日（日）9時30分～16時

■場所

シヨッピングセンターアス

モ東口 街なかギャラリー

■問合せ

置賜ステンドグラス愛好者

会小国支部 齋藤（080

・1827・5244）へ

自衛隊等採用説明会

■日時 8月20日（日）

13時30分～15時30分

■場所 おぐに開発総合セン

ター保健相談室

■内容 各種採用制度につい

て説明します。予約不要、

どなたでも参加可能です。

■問合せ

自衛隊米沢地域

事務所（☎0238・23・0011）へ

8月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 8月25日(金)
- ・受付時間 13:10~13:30
- ・対 象 平成29年4月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 8月25日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成28年8月生まれ

■2歳児健診

- ・期 日 8月23日(木)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成26年12月、平成27年1月、2月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■8月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座	8月1日(火)	「救急法について」・子育て支援センター	不要
	8月24日(木)	「ヨガ」・おぐに開発総合センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

8月6日(日)	白鷹	五十嵐歯科医院	0238-85-2075
8月11日(金)	米沢	笹生歯科医院	0238-21-0331
8月13日(日)	長井	村上歯科クリニック	0238-83-3650
8月14日(月)	南陽	佐藤歯科クリニック	0238-47-2888
8月15日(火)	米沢	金子歯科医院	0238-23-0909
8月20日(日)	川西	ふなやま歯科医院	0238-42-3057
8月27日(日)	米沢	たいら歯科医院	0238-40-8404

求 人 情 報

右の表は7月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2017.8

8月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●8月28日(月) 水道料

●8月31日(木)

町県民税、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
おぐに白い森(株)	応接員、運転業務	計3人	7:00~19:00 他
小国食糧(株)	販売員	1人	8:30~17:30
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
社会福祉法人小国福祉会	介護員、介護員【年度更新】	各1人	6:30~15:30 他
日本重化学工業(株)小国事業所	電子材料製造スタッフ	15人	8:15~17:15 他
(株)横川建設	作業員、営業他5職種	計9人	8:00~17:00
大和建設運輸(株)	大型トラック運転手	2人	8:00~17:00
(株)高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00~17:00 他
(株)山芳工務店	電気設備工	3人	9:00~18:00
斉藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
第一ホール小国店	ホールスタッフ(フル・パート)	計3人	8:30~16:15 他
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	3人	8:00~17:00
大河内産業(有)	一般事務員他2職種	計3人	8:00~17:00
遠藤建設(株)	一般作業員、土木施工管理技士	計3人	8:00~17:00
玉川開発(株)	一般作業員、土木施工管理技士	計6人	8:00~17:00
長谷川工業(株)	NC旋盤オペレーター	2人	8:30~17:00
(株)サニーサイドアップ	調理・調理補助・宿舍管理(住込)、宿舍清掃	各1人	5:00~20:00の間の8時間程度
山和建設(株)	2級土木建築施工管理技士	3人	8:00~17:00
日清医療食品(株)仙台支店	(請)栄養士(フル・パート)	各1人	9:00~18:00 他
美森ファーム(株)	販売員(フル・パート)	各1人	8:00~17:00
北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所	(臨)事務補助	1人	8:30~17:15
置賜総合支庁 西置賜地域振興局	(臨)河川環境保全員	1人	8:30~16:00 他
(株)金十商店	(臨)レジ業務	1人	6:00~19:30の間の5時間程度

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

大相撲東関部屋小国合宿

大相撲「東関部屋」が今年も小国町で合宿を行います。稽古を自由に見学できますので、ご声援をお願いします。



■稽古日時

8月15日(火)～20日(日)
午前7時～10時

■稽古場所

クアーズテック(株)小国事業所相撲場

■問合先

東関部屋小国後援会事務局
(☎62-3278) 都築方へ

◇さいわい荘盆踊り大会◇

■期 日

8月11日(金)

■時 間

子供の部 15:00～

大人の部 15:30～

■場 所

さいわい荘大ホール

■その他

内履きをご持参ください。

小学生お菓子つかみどりは14:50開始

■問合先

さいわい荘（☎62-3821）へ



第56回少年の主張小国地区大会

中学生を対象とした少年の主張小国地区大会が、次のとおり開催されます。熱い思いをぜひ会場でお聞きください。

■日 時

9月1日(金) 13:35～

■場 所

小国中学校体育館

■問合先

小国町防犯協会事務局（町民税務課町民生活担当）（☎62-2260）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

- ◇あおなり道場始末
- ◇いまさら翼といわれても
- ◇終わりなき夜に生れつく
- ◇作家的覚書
- ◇あのころ、早稲田で

休館日 毎週月曜日・祝日

葉 室 麟
米 澤 穂 信
恩 田 陸
高 村 薫
中 野 翠

相 談

▽年金相談

■日 時

8月23日(水)
10:30～14:00

■場 所

役場 大会議室

■対応者

米沢年金事務所職員

■申込み

事前に申込みが必要です

■問合先

町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日 時

8月16日(水)
10:00～12:00

■場 所

アスモ街なかギャラリー

■対応者

町人権擁護委員

■問合先

町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日 時

8月19日(土)
10:00～12:00

■場 所

役場

■対応者

司法書士 舟山健蔵氏

■申込み

事前に申込みが必要です

■申込・問合先

町民税務課町民生活担当へ

▽弁護士無料法律相談

■日 時

9月1日(金)
10:00～15:00

■場 所

おぐに開発総合センター

■対応者

町顧問弁護士

■申込み

事前に申込みが必要です

■申込・問合先

町民税務課町民生活担当へ

町内の空間放射線量

～数値は人体に対して影響のない水準です～

■7月7日(金)の空間放射線量

測定場所	測定値 (μ Sv/h)
小国小学校 グラウンド	0.04

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

※今年度より県の実施方針見直しに伴い、観測地点を1カ所にしていきます。

※3カ月に1回調査を実施しています。

■問合先 町民税務課町民生活担当へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408 ●会計室 ☎62-2406
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(6月届出分)

誕生おめでとうございます。

西 今 永美里 (勇 樹里)

小国町竹田 未葵 (一 平未)

小国町竹田 依玖 (一 平未)

北 木村 風 (郷 介香)

おくやみ申し上げます。

小国町 齋藤 タヅ子 (80)

沼 沢 渡部 武吉 (91)

五味沢 齋藤 熊彦 (83)

兵庫館 安達 キヌエ (95)

栄 町 伊藤 美子 (62)

小国小坂町 伊藤 智 (85)

網代瀬 塩川 惣市 (80)

小国小坂町 松本 由一 (79)

小国小坂町 青木 宮子 (86)

今 市 高野 ミヨ子 (81)

栄 町 廣瀬 敏子 (65)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年6月30日現在)

人口 男・・・3,890人(一 1)
 女・・・3,975人(一 5)
 計・・・7,865人(一 6)
 世帯数 3,102世帯(+ 5)

編集後記

ついでですが、8月28日羽越水害から50年を迎えます。当時、多くの方々が災害対応をする中、その災害を後世に伝えようと写真に残した方々もいます。町広報担当が所有する写真は、現在もネガアルバムで保管されています。その写真の一部を8月7日から21日までアスモ内で、その後9月1日まで役場に展示を予定しています。ぜひ一度ご覧いただき、感想をお寄せください。偶然にも8月28日は、私が生を受けた日でもあります。(斎藤)

8月の あいイベント

夏休み小学生スポーツ教室「あいべでドッジボール」

- 日 時 8月9日(水) 9:30～
- 対象者 小学生
- 持ち物 室内シューズ、飲み物等
- 参加費 100円(保険料込)
- 申込締切 8月4日(金)



たのすぽナイトスポーツ体験

ユニホックやインディアカ、カローリングなどさまざまなスポーツを同じフロアで楽しむ教室です。

- 日 時 8月2・9・23・30日(水) 19:30～
- 場 所 町民総合体育館
- 対象者 どなたでも(中学生以下保護者同伴)
- 参加費 300円(中学生以下100円)
- 申込締切 参加する日の午前中まで

- 申込・問合せ先 (☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

～第3回越後米沢街道・十三峠トレッキング～

- 日 時 8月26日(土) 9:00～16:30
- コース 高鼻峠ー朴ノ木峠ー萱野峠
- 集 合 旧玉川小中学校 9:00集合
- 定 員 20名
- 対 象 どなたでも
- 参加費 1,500円(保険代等込)
- 持ち物 帽子、雨具、手袋、タオル、昼食、飲み物など
- 申込締切 8月18日(金)
- 申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊 (☎62-5955) へ

黒沢峠敷石道修復ボランティア募集

- 期 日 8月25日(金) 9:00～12:00 小雨決行
- 集 合 おぐに開発総合センター入口 9:00
- 募集人数 25人
- 作業内容 土のうづくり、土のう設置作業
- 募集締切 8月21日(月)
- 持 ち 物 飲み物、帽子、手袋、雨具、シート等
- そ の 他 当日はバスで移動します。
- 申込・問合せ 黒沢峠敷石道保存会 会長 保科一三 (☎62-4496) へ

シリーズ

地域のブランド化とは

その④

おぐにの郷土料理「からこ」

その地に根付いた産物を使い独自の方法で調理する郷土料理。自然豊かな本町には多くの郷土料理があり、さまざまな年中行事に合わせて食べられていました。しかし生活様式の変化とともに懐かしい郷土の味も忘れられつつあります。

「からこ」もそのひとつであり、本町周辺では関川村や飯豊町の一部地域などの限られた地域でのみ現在も作られています。からこは、うるち米とくるみを粉にして、砂糖と水で混ぜて練って作るものです。

現在もからこを作る小関清子さん（増岡）は、「昔はお菓子のない時代で、からこをお菓子代わりに食べていました。また人が集まればみんな

で作って食べていました。みんなで作るのも楽しみのひとつでした。現在食べる人は少なくなりましたが、新米ができると作って神棚に供え、家族で食べています。また、お客様が来た時や同級会があるときなど、小国から離れた人と会う時にはからこを持参しています。」と話してくださいました。

水が貴重だった時代、新米



▲水神を祭った水舟

ができることからこを作り神棚に供え、11月15日に行われた水神祭りにもからこを作って供えていたそうです。時代の流れとともに白砂糖や黒砂糖が使われるようになるなど変化しながら今でもからこが食べられており、(有)小国町農業振興公社では商品として販売もしています。

齋藤以智子さん（石滝）は、「昔砂糖はとても貴重なもので、からこに砂糖はほとんど入っていませんでした。それに比べれば今のものは、贅沢品になったのではないでしょう。昔のからこは、囲炉裏で焼いて食べるなど食べ方にも楽しみがありました。今このからこは砂糖を多く使うので、魚焼きの網などで少し焦げ目がつく程度に焼くとまた



▲白砂糖を使用して作ったからこ

違う味が楽しめます。昨年から、からこを作るときに水ではなく、煮沸して冷ました牛乳を使ってからこを作っています。牛乳の脂分がまた一味違う楽しみになっています。」と話してくださいました。

からこは年中行事や信仰に結び付いた食として受け継がれ、さらに改良を加え進化し続けて現代まで残っているおぐにの郷土料理です。小国の人々の技術と心がそがれた「からこ」は、小国ブランドのひとつであると言えるのではないのでしょうか。